

研究課題：咽後膿瘍の症例検討

1. 研究の目的

咽後膿瘍は5歳未満の小児に多く発症する深頸部膿瘍の一つです。しかし、症状や治療内容などについて詳細に検討した本邦小児の報告はほとんどありません。本研究は咽後膿瘍の病態と臨床経過の解析を目的とします。

2. 研究の方法

2020年3月31日までに埼玉県立小児医療センター感染免疫科または耳鼻咽喉科において治療を行った咽後膿瘍の患者さんを対象とします。診療録を用いた後方視的観察研究です。観察項目は、身体所見、血液検査、画像検査を用います。

3. 研究期間：2020年5月（倫理承認を得られた日）から2020年3月31日まで。

4. 研究に用いる資料・情報の種類：診療録、血液検査、画像・病理検査。

5. 外部への資料・情報の提供、研究成果の公表：学会報告、学術論文。

6. 研究組織：

埼玉県立小児医療センター 感染免疫アレルギー科 医長 大西 卓磨

7. お問い合わせ先・研究への参加を希望しない場合の連絡先

研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出下さい。

また、資料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、2021年3月31日まで下記の連絡先へお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

埼玉県立小児医療センター

医事担当（代表 048-601-2200）